

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願2000-392351
起案日	平成15年12月25日
特許庁審査官	山本 春樹 7638 5J00
特許出願人代理人	金田 暢之 (外 2名) 様
適用条文	第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記

(引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項1、11について
- ・刊行物1、2
- ・備考

本願発明は、刊行物1の段落「0014、0015」、請求項2、3に記載されている。なお、ソフトハンドオーバー時に移動端末から基地局へ、下り受信品質が最もよい下り信号を送信している基地局の基地局IDを通知することは、刊行物2の段落「0027」も参照のこと。

- ・請求項2について
- ・刊行物1、2
- ・備考

請求項に直接書かれた事項は、刊行物1の請求項3参照

- ・請求項3について
- ・刊行物1、2
- ・備考

請求項に直接書かれた事項は、刊行物2の請求項4参照。

- ・請求項 5、16、23について
- ・刊行物 1、2
- ・備考

請求項に直接書かれた事項に、技術的な意義が認められない。

- ・請求項 6について
- ・刊行物 1、2
- ・備考

刊行物 1 には、移動通信において、基地局から移動端末への下り信号のユーザデータを復調するための受信であって、ソフトハンドオーバー時に前記移動端末から前記基地局へ、下り受信品質が最もよい前記下り信号を送信している基地局の基地局 ID を通知し、該移動端末から通知された前記基地局 ID に対応しない基地局から前記移動端末へのユーザデータの送信を停止すること（段落「0012」、段落「0014」、請求項 2、3 参照）が、刊行物 2 には、ユーザデータを送信する可能性がある基地局を移動端末で推定する（段落「0014」参照）ことが、それぞれ記載されている。

- ・請求項 7について
- ・刊行物 1、2
- ・備考

請求項に直接書かれた事項は、刊行物 1 の請求項 3 参照。

- ・請求項 8について
- ・刊行物 1、2
- ・備考

請求項に直接書かれた事項は、刊行物 2 の請求項 4 参照。

- ・請求項 10について
- ・刊行物 1～3
- ・備考

請求項に直接書かれた事項は、刊行物 3 の段落「0011」参照。

- ・請求項 12について
- ・刊行物 1、2
- ・備考

刊行物 1 には、下り信号の送信電力を制御する移動通信システムであって、通知された基地局 ID が自身に対応する場合にユーザデータを送信し、該基地局 ID が自身に対応しない場合に前記ユーザデータの送信を停止する複数の基地局と、

ソフトハンドオーバー時に、下り受信品質が最もよい前記下り信号を送信している基地局の基地局 ID を前記基地局に通知し、前記ユーザデータを送信する可能性がある基地局を推定する（段落「0014」、請求範囲2、3参照）ことが、刊行物2には、推定された基地局からの下り信号を用いてユーザデータを復調する（段落「0014」参照）ことが、それぞれ記載されている。

- ・請求項13について

- ・刊行物1、2
- ・備考

請求項に直接書かれた事項は、刊行物1の請求項3参照。

- ・請求項14について

- ・刊行物1、2
- ・備考

請求項に直接書かれた事項は、刊行物2の請求項4参照。

- ・請求項17について

- ・刊行物1～3
- ・備考

請求項に直接書かれた事項は、刊行物3の段落「0011」参照。

- ・請求項18について

- ・刊行物1、2
- ・備考

本願発明は、刊行物1の段落「0014、0015」、請求範囲3に記載されている。なお、ソフトハンドオーバー時に、下り受信品質が最もよい下り信号を送信している基地局を選択し、選択された該基地局のみにユーザデータを送信させるために、該基地局の基地局IDを前記基地局へ通知することは、刊行物2の段落「0027」を参照。

- ・請求項19について

- ・刊行物1、2
- ・備考

移動通信システムにおいて、基地局からの下り信号のユーザデータを受信する移動端末であって、ソフトハンドオーバー時に、下り受信品質が最もよい前記下り信号を送信している基地局を選択し、選択された該基地局のみにユーザデータを送信させるために、該基地局の基地局IDを前記基地局へ通知する基地局選択手段と、前記ユーザデータを送信する可能性がある基地局を推定する下り信号重み決定手段と、有する移動端末が、刊行物1の段落「0012」、「0014」、

請求項3に、ソフトハンドオーバー時に、下り受信品質が最もよい下り信号を送信している基地局を選択し、選択された該基地局のみにユーザデータを送信させるために、該基地局の基地局IDを前記基地局へ通知する基地局選択手段と、ユーザデータを送信する可能性がある基地局からの下り信号を用いて前記ユーザデータを復調するデータ復調手段を有する移動端末が、刊行物2の段落「0027」、「0014」に、それぞれ記載されている。

- ・請求項20について
- ・刊行物1、2
- ・備考

請求項に直接書かれた事項は、刊行物1の請求項3参照

- ・請求項21について
- ・刊行物1、2
- ・備考

請求項に直接書かれた事項は、刊行物2の請求項4参照

- ・請求項24について
- ・刊行物1～3
- ・備考

請求項に直接書かれた事項は、刊行物3の段落「0011」参照。

引用文献等一覧

1. 特開平11-308657号公報
2. 特開平11-069416号公報
3. 特開平11-191896号公報

この拒絶理由通知書中で指摘した請求項以外の請求項4、9、15、22に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 I P C 第7版
- ・H04B7/24～7/26

整理番号:49230079

発送番号:461986 発送日:平成16年 1月 7日

5/E

H 0 4 Q 7 / 0 0 ~ 7 / 3 8

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由の内容に関して問い合わせがある場合は下記まで連絡されたい。

審査第4部伝送システム 山本 春樹 TEL. 03(3581)1101 EX. 3536

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.